

令和元年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	南与野第1自転車駐車場ほか5施設(Cグループ 中央区)
(2)施設概要	<p>①所在地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南与野第1自転車駐車場(中央区鈴谷2丁目1221番地)</li> <li>・南与野第2自転車駐車場(中央区鈴谷1丁目513番地)</li> <li>・与野本町第1自転車駐車場(中央区本町東2丁目128番地)</li> <li>・与野本町第2自転車駐車場(中央区本町東1丁目99番地)</li> <li>・与野駅西口臨時自転車駐車場(中央区大字下落合1055番地)</li> <li>・けやきひろば自転車駐車場(中央区新都心10番地)</li> </ul> <p>②施設の設置目的 自転車利用者の利便性を図るため</p>
(3)指定管理者	日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②管理経費 平成29年度56,999千円、平成30年度57,424千円 令和元年度61,287千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む) 自転車駐車場の利用許可や利用料金の収入及び還付に関する業務を行いました。 6月(利用が安定する時期)の利用状況は、平成30年度が2,792台/日、令和元年度が2,832台/日でした。</p> <p>②維持管理業務の状況 消防用設備点検業務、床等清掃業務等、自転車駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行いました。</p>
(6)収支状況	<p>平成30年度</p> <p>①収入 利用料金:69,562千円</p> <p>②支出 管理経費:57,424千円</p> <p>納付金額(①-②):12,138千円 ※納付金額は各種自転車対策事業費に充当</p> <p>令和元年度</p> <p>①収入 利用料金:70,461千円</p> <p>②支出 管理経費:61,287千円</p> <p>納付金額(①-②):9,174千円 ※納付金額は各種自転車対策事業費に充当</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	交通系ICカードによる一時利用の決済を与野本町第1でも取り入れました。以前よりアンケート調査でご要望の多かった一時利用精算機でのICカード対応が与野本町第1に加え、昨年度取り入れた南与野第1・与野駅西口臨時の3か所に増えたことで利便性の向上に寄与できました。
(8)その他	

## 2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用促進に向けての取り組み	与野駅西口臨時の周知活動として、場外へ向けた横断幕を設置しました。駐車場の出入口が分かりづらいため、出入口の場所を明記する等の工夫を凝らしました。10月には、与野駅前ティッシュ配りを実施し3日間で2000個のティッシュを配布しました。
サービス向上への取り組み	近年増加傾向にある外国人利用者への配慮としてポータブル翻訳機(ポケットク)を配備しました。さいたま新都心で行われた「さいたまクリテリウム」ではけやきひろば自転車駐車場に来場された外国人利用者実際に使用する機会がありました。 スマートフォンやタブレット等の普及に伴い、ECOPOOLサイトの大幅なレイアウト変更を行いました。利用者が直感的にできるよう配慮し、登録・契約がスムーズに行えるよう改修しました。
安心・安全に利用していただくための取り組み	自転車事故を未然に防ぐ対策の一環として場内走行禁止啓発キャンペーンや、自転車の簡単な点検・整備を行う自転車安全点検キャンペーンを昨年度に引き続き実施しました。けやきひろばでは、駐車場出入口につながる通路での乗車走行が横行しており、その対策としてカラーコーンを活用しての注意喚起と係員による声掛けを実施することで事故を未然に防ぐ対策を構築しています。
管理員のスキル向上を目指した研修への取り組み	外部講師による接客・接客研修や社内の情報セキュリティ委員による情報セキュリティ研修を実施しました。 そのほか、新たな試みとして弊社が指定管理をしている他自治体の管理担当者と統括場長(合計14自治体)を一同に集めた統括場長会議を実施しました。他現場で実践している取り組みやヒヤリハットなどの意見交換をおこない、各現場へフィードバックすることで更なる業務品質の向上につなげました。

## 3. 評価

### (1) 指定管理者による評価

本年度は前年度と比較し、定期利用売上が103%、一時利用が100%、全体の売上が102%となったことで増収という結果で終わることができました。特に、南与野第2の定期利用が大幅に増えたことで全体の売上増加につなげることができた一方で、新型コロナウイルスによる売上減少もあったことで、当初の売上予算に届くことができませんでした。  
ECOPOOLについては、指定管理開始当初から導入していることで、一程度の認知はされてきていると自負していますが、利用者からの要望を随時反映させ時代に合った内容となるよう工夫することで、より良いサービスの提供を継続しています。  
指定管理者として2期目に入り、新たに提案させていただいた試みとして弊社の一時利用精算機が導入されている現場での交通系ICカード対応や、インターネットを活用した利用者アンケート調査などを実施しました。本年度は、弊社が駐輪場の管理会社としてだけでなく、精算機や機械式個別ラックのメーカーであり、IT企業でもある企業としての強みをより活かすことができた1年だったと考えます。

### (2) さいたま市の評価(評価担当課:都市局都市計画部自転車まちづくり推進課)

#### 総合評価(B)※A~D

利用者への公平公正な対応、利用者サービスの向上、利用促進に努めました。利用率の低い与野駅西口臨時自転車駐車場の利用促進のため、横断幕を設置したほか、与野駅前でティッシュ配りを実施するなど独自の取り組みを行いました。  
施設管理については、清掃や設備の点検を行うとともに施設の修繕業務を行い、施設の維持管理に努めました。  
全体としても適正な管理が行われました。

### (3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

今後もアンケート結果等を分析し、利用者サービスの向上に努め、利用率の低かった施設については利用率向上に努められたい。